

平成21年度第1回みえ地域コミュニティ応援ファンド(地域課題解決型)助成金交付対象者の一覧表

平成21年8月5日作成 財団法人三重県産業支援センター

	所在地	申請主体 (代表者名)	テーマ	助成額 (総事業費)
			事業の内容	
1	四日市市	三重の物産展実行委員会	三重の誇れるもの「三重のみえっぱり」(地域ブランド名)を活用した地域活性プラン	1,904,000円 (3,083,750円)
		(宇野 誠)	三重県全域の優良な物産を四日市の中心市街地で展示即売する『三重の物産展』を開催し、来場される消費者・出展者・商店街のお店からアンケートを行い、消費者目線を中心に今後の方向性を見出し、空き店舗への三重の物産常設店を開設する事業。	
2	四日市市	株式会社ティアラ	託児ビジネスを活用した近鉄四日市駅西商店街活性化プラン	2,000,000円 (8,349,550円)
		(佐原 佳寿子)	地域密着型の都市型託児所。駅から歩いて3分という立地と、県下最大規模の保育スペースを保有し急なお子様の預かりや、大人数の一時保育を可能にしている。また、子育てをしながら就労を希望されている女性の環境改善と周辺企業・商店の活性化に貢献していく。	
3	志摩市	辻村商店	個人事業主が障がい者と始める雇用促進協働事業プラン	1,174,000円 (1,925,632円)
		(辻村 知身)	個人商店主が自分の事業商売を障がい者と協働で運営していく事で、障がい者は障がい者自身の活躍の場となり、個人商店は高齢化による後継者問題、体力低下による人力不足の改善につなげて行く。	
4	名張市	個人	認可保育園や学童保育が対応し切れていない時間帯・受入年齢の児童の預かりに関する課題解決プラン	2,000,000円 (3,227,412円)
		(中村 大学)	一戸建ての家屋で家庭に近い環境の中で、認可園と同様の指導監督基準を満たした保育室、ほふく室で有資格者が保育。認可保育園や学童保育がケア出来ない年齢、学年、時間帯、夜間、休日保育に対して、極め細やかに対応する。	